
風邪

悪者はいない

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

風邪

【Nコード】

N5227Z

【作者名】

悪者はいない

【あらすじ】

俺と私の最近の出来事。

近頃、表で“私”が楽しそうに笑ってる。
友達の前でもニコニコニコニコ。
あの子の前でもヘラヘラヘラヘラ。
話しかけられたらすぐに返事をして、最後にニコツと癖のように笑顔を見せる。

『楽しそうだ』

中で“俺”は一人傍観。
楽しせてもらってるよ。
ただ、気持ち悪いね。
俺には無茶してるって丸わかりだから。
何をそんなに頑張るんだか。

明るい自分を周りが当たり前になるように、私が出る回数が増えた。
その度に体調がどんどん悪くなっていく。
それを見て見ぬフリする私。
俺もとやかく言うつもりはない。

私がマスクをするようになった。
体調は前よりも悪化している。
頭痛も酷くなってきた。

しかし、私はまだ馬鹿げたことを続けてる。
皆勤賞が欲しいらしい。
んなの俺にとってみやどうでもいいモノだ。
さっさと薬飲んで安静にしてりゃいいーのに。
アイツは何事もないように振る舞う。

ただ、あの子の前では少しだけ甘えるように触れる回数が増えた。

ついに薬に手を出すまでに悪化した。

話す人間の数も極端になった。

ただ、話しかけられれば笑顔で対応する。

傍観していた俺が出る回数が増えた。

悪態つくように周りへの不満や愚痴を親しい友人に吐く。

頭痛や全身の寒気も酷くなった。

鼻水も止まらない。

しかし、私は学校に通い続けた。

期末テストだったから。

帰宅すると泥のように眠っていたけれど。

少しだけ体調が良くなってきた。

薬にはもう手を出してない。

また私が出るようになった。

人付き合いを円滑にさせようと笑う、笑む。

体調が悪い日には俺と交代。

溜め込んだ毒を吐く、耐える。

陰口叩かれようが全て無視。

精神面では俺が一番強いから、言い返すような子供じみたことはしない。

ただ、静かに毒を吐く。

体調が良ければ私。

悪かったり、笑えない場合は俺。

その繰り返し。

また、体調最悪になった。

これまで良かったのに、な。

昨日、あの子を置いて先に帰った。

表面上は平気な面したけど、本音は限界だった。

頭がガンガンして鼻水やクシャミが止まらない。

厚着してるのに全身が寒い。

これ以上は無理だな、と悟った。

帰り際、あの子に笑みを残し、周りに見送られながら帰路を進む。

私と同じように笑った。

あの子にだけは、みっともない姿を見せたくなかった。

意地を張ったのだ。

潜り込んだ布団は冷たく、誰もいない空間に『悪かったな』と呟いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5227z/>

風邪

2011年12月17日19時53分発行